

古田土 <sup>会計</sup> 様

日本も入梅の季節となりました。如何お過ごしでしょうか？

私は6月1日～7月20日まで帰国し、全国講演会を行っています。

古田土様のお陰で我が家の生活はなりたっています。全国講演会ができるのも古田土様のお陰と感謝しております。

お陰様で昨年、ベトナム政府から海外NGOでは最高の勲章である「友好勲章」を頂きました。また、日本の川口外務大臣（当時）からは、「外務大臣表彰」を頂きました。こうした形で日本とベトナムの両国政府から活動が評価されたことは、ベトナムで12年間活動したことへの評価とも思っております。私が家族と離れてベトナムに住んで12年。約300人のストリートチルドレンを育て、社会へ送り出しました。累計で4000人近くの生徒学生への奨学金、2000人の障害児への支援などを行うことが出来ました。

私がベトナムに行って多少は困った子どもたちの役に立ったのはと自負している所です。

こうして私が安心してベトナムで活動ができるのも古田土様からのご支援のお陰と本当に感謝しております。私自身は収入を得る仕事が出来ません。また、私たちの会自身も私の生活と将来の保障まで

は手がまわらないのが現状です。ベトナムでの家賃・生活費の最低程度の手当てしか出ないのが現状です。日本へ帰国しての生活支援は難しいの現状です。

今回は日本で人間ドック、脳のMRI検査を受けようと思いましたが、人間ドックが5万円、脳MRI3万円とのこと。ベトナムの子どもを支える会からのお金では、病院へも行けないのが現実です。私が今、倒れたら「子どもの家」の子どもたちや多くの生活困難な子どもたちが困ります。私はまだ10年ほどは、ベトナムに住み、困った子どもたちのために頑張らなければなりません。一度はじめた仕事です。途中で止めることは出来ません。また、私のフエ滞在で助かっている子どもたちがいるのも現実です。

一昨年、妻が脳腫瘍となり8時間の大手術をしました。

お陰様で手術は成功しましたが、後遺症が残り、手術後1年半たちますが、学校での仕事が出来ないまま休職しています。

医師との相談で後遺症は治らないとのことなので、2005年9月で「退職」せざるを得ない状況となりました。55歳です。

今年の9月からは妻の給料もなくなり、私と妻の年金の出るまでの10年間近くは、二人とも収入がなくなります。私は、最低限度の

生活をすればよいと妻にも言っています。顔の半分が麻痺してしまい、視野狭窄、感覚麻痺などの障害が残り妻も真っ当な仕事は出来なくなりました。

<sup>会計</sup>  
そんな中での古田土様様の生活支援は、本当に助かっています。

ベトナムの子どもの家を支える会に集まっているボランティア支援者は、ベトナムのストリートチルドレンには興味がありますが、実際にベトナムで活動している私や我が家族には、ほとんど関心がありません。雲か霞を食べて生きてるとでも思っているのでは、と感ずることさえあります。

<sup>会計</sup>  
昨日、古田土様の紹介で支援を頂いている「須賀孝様」の戸越銀座の会社へ伺い、支援の状況とお礼を申し上げて来ました。

須賀様は日本語学校への支援をしてくれています。何かの機会がありましたら、古田土様からも須賀様に宜しくお伝えください。

<sup>会計</sup>  
本来なら直接古田土様のところへ伺い、お礼を申し上げなければなりませんが、文書にて失礼させていただきます。

文末になりましたが、古田土様とご家族・社員皆様方のご健康とご多幸をお祈り致します。 2000年6月11日 小山道夫 揮

私達は小山さん個人に寄付させて頂いています。